

- 問1 大分県の北部において、冬の時期に降水量（降雪）が多くなる傾向がある理由を、地形と風の観点から説明したものととして適切なものはどれか。
（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 北からの湿った季節風が、県の中央部を東西に走るなだらかな山地にぶつかり、上昇気流が発生して雲が発達するため。
 2. 日本海側から吹き込む乾燥した季節風が、県の中央部にある高い山地を越える際に、瀬戸内海からの水蒸気を吸収して雨を降らせるため。
 3. 太平洋から吹く温暖な季節風が、南部から北上する際になだらかな山地を越え、その過程で冷却されて北部に雪をもたらすため。
 4. 四国山地を越えてきた湿った季節風が、県の中央部にある盆地状の地形に停滞し、冬の低温によって雪へと変化するため。
- 問2 九州地方の農業の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。
（2020年 福岡県公立入試 類似）
1. 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。
 2. 九州南部は平野が広く水利が良いため、農業産出額のほとんどを米（稲作）が占めている。
 3. シラス台地は保水力が非常に高いため、サトウキビなどの工夫作物を中心とした農業が行われている。
 4. シラス台地の地層は果樹栽培に最も適しているため、リンゴやブドウの産出額が全国1位となっている。
- 問3 九州地方の気候について、福岡市と宮崎市の降水量の特徴を比較した説明として最も適切なものはどれですか。
（2023年 福島県公立入試 類似）
1. 福岡市は梅雨の時期である6月・7月に降水量のピークがある一方で、宮崎市は台風や季節風の影響を受け、夏の降水量が月間600mm近くに達するなど非常に多い。
 2. 宮崎市は冬の季節風の影響で12月・1月に降水量が最も多くなるが、福岡市は年間を通じて降水量の変化が少なく、常に一定の雨量がある。
 3. 福岡市は夏に雨が極端に少なくなる瀬戸内の気候の特徴を持つが、宮崎市は黒潮の影響で冬でも降水量が減らず、一年中多雨である。
 4. 宮崎市は福岡市に比べて年間の総降水量が少なく、特に夏から秋にかけては乾燥した晴天の日が続くため、水不足になりやすい特徴がある。
- 問4 福岡県の工業出荷額に占める産業別割合を示した統計において、機械工業に次いで大きな割合を占め、北九州工業地域の沿岸部に工場が集中している産業の名称を答えなさい。
（2020年 静岡県公立入試 類似）
1. 化学工業
 2. 金属工業
 3. 食品工業
 4. せんい工業
- 問5 鹿児島県の農業の特色について、農業産出額の構成や主な生産物の背景を踏まえて述べた文として、最も適切なものはどれですか。
（2016年 福岡県公立入試 類似）
1. シラス台地などの地形的条件もあり、豚や肉用牛、ブロイラーといった畜産の産出額が全体の約6割を占めている。
 2. 広大な平地と涼やかな気候を活かした大規模農業が盛んで、乳牛などの酪農やてんさい、じゃがいもの生産が中心である。
 3. 首都圏に近い立地を活かした近郊農業が発達しており、レタスやピーマンなどの野菜の生産額が畜産を大きく上回っている。
 4. 温暖な気候を利用した稲の二期作が古くから行われており、農業産出額における米の割合が最も高い。
- 問6 九州地方南部や四国地方の太平洋側では、冬でも雪が少なく温暖な気候を利用して、ピーマンやきゅうりなどの促成栽培が盛んに行われています。このような温暖な気候をもたらす主な要因について、海流の性質に注目した説明として最も適切なものを選びなさい。
（2023年 岡山公立入試 類似）
1. 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。
 2. 高緯度から冷たい水を運ぶ「寒流」である親潮が、太平洋の沿岸部を冷やしているため。
 3. 日本海側を北上する対馬海流が、対馬海峡を通して太平洋側に大量の熱を供給しているため。
 4. 大陸沿いに南下するリマン海流によって、冬の乾いた季節風が温められるため。
- 問7 東京から各都市への鉄道による移動時間を地図上の距離に置き換えた変形地図において、2010年から2014年の間に、九州南部方面の距離が他の主要都市と比べて劇的に短く変化した様子が示されることがあります。このような変化をもたらした主な要因として最も適切なものはどれですか。
（2022年 広島公立入試 類似）
1. 九州新幹線的全線開業により、山陽新幹線との直通運転が開始されたこと
 2. 格安航空会社（LCC）の就航が相次ぎ、空路による移動の選択肢が増えたこと
 3. リニア中央新幹線の先行区間が開業し、西日本方面への移動が高速化したこと
 4. 青函トンネルの開通により、本州と周辺の島々を結ぶ鉄道網が連結されたこと
- 問8 福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んでしたが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。
（2016年 東京都公立入試 類似）
1. 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。
 2. 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。
 3. 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。
 4. 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。
- 問9 日本の諸地域の自然について説明した資料において、南西諸島の特色をまとめた文として最も適切なものはどれですか。地形や植生の広がり方に着目して選びなさい。
（2022年 沖縄公立入試 類似）
1. 亜熱帯の気候を生かし、河口や海岸の湿地にはマングローブが広がり、貴重な生態系が見られる。
 2. 涼やかな気候を好むブナの林が、海岸付近の湿地から山地にかけて大規模な原生林を形成している。
 3. 大規模な干拓によって作られた湿地を利用して、マングローブの植林による木材生産が盛んである。
 4. サンゴ礁が隆起してできた平坦な土地では、泥の多い湿地を利用した稲作が島の主要産業となっている。
- 問10 高度経済成長期の日本において、北九州市などの工業地帯を中心に発生した、工業化に伴う環境破壊を総称して何と呼びますか。また、その主な内容を説明したものととして適切なものはどれですか。
（2017年 長野県公立入試 類似）
1. 公害：工場から排出される排煙による大気汚染や、排水による水質汚濁などのこと。
 2. 地球温暖化：化石燃料の使用によって二酸化炭素が増加し、地球全体の気温が上昇すること。
 3. 自然災害：台風や地震などの自然現象によって、建物や人命に直接的な被害が出ること。
 4. ヒートアイランド現象：都市部の建物やアスファルトの影響で、周辺部より気温が高くなること。
- 問11 九州南部の宮崎県や鹿児島県では、農業産出額の約6割を畜産が占めています。このように、この地域で豚や肉用牛、鶏などの飼育が盛んになった地理的理由として最も適切なものはどれですか。
（2020年 福岡県公立入試 類似）
1. 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。
 2. 温暖な気候を利用して年に2回米を収穫する二期作が衰退し、その跡地をすべて牧草地に転換したため。
 3. シラス台地は栄養分が豊富な土壌であり、家畜の餌となるトウモロコシや小麦の生産が国内で最も盛んに行われたため。
 4. 海岸沿いに広がる平坦な埋立地を利用して、海外から輸入した飼料を直接加工する大規模な工場と農場が直結しているため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 北からの湿った季節風が、県の中央部を東西に走るなだらかな山地にぶつかり、上昇気流が発生して雲が発達するため。	冬の季節風は、日本海や関門海峡付近を通過する際に湿気を帯びます。大分県の中央部には東西になだらかな山地が存在するため、この北寄りの季節風が山地の北側に吹き付けることで上昇気流が起こり、雪や雨を降らせる原因となります。この仕組みは日本海側の気候メカニズムと似ていますが、大分県特有の東西にのびる山地の配置が大きな役割を果たしています。
問2	答え 1 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。	鹿児島県や宮崎県の農業統計を見ると、豚や鶏、肉用牛といった「畜産」の割合が、他県に比べて突出して高いことがわかります。これは、火山灰が堆積したシラス台地という特殊な地形が広がっていることが関係しています。シラス台地は水もちが悪く稲作が困難であったため、その広大な面積を有効に活用できる畜産業が地域の基幹産業として定着しました。
問3	答え 1 福岡市は梅雨の時期である6月・7月に降水量のピークがある一方で、宮崎市は台風や季節風の影響を受け、夏の降水量が月間600mm近くに達するなど非常に多い。	九州北部に位置する福岡市は、梅雨の時期に降水量がまとまる日本海側の気候の特色を持っています。これに対し、九州南部の太平洋側に位置する宮崎市は、暖流である黒潮（日本海流）の影響や、夏から秋にかけて吹き込む湿った南東の季節風、さらには台風の進路になりやすいといった地理的要因が重なり、夏から秋にかけて全国的にも非常に多い降水量を記録します。
問4	答え 1 化学工業	北九州工業地域は、鉄鋼業（金属工業）から発展した歴史がありますが、現在は機械工業や化学工業が工業出荷額の中で重要な役割を担っています。特に化学工業は、広大な敷地と港湾施設を必要とするため、地図上の工場分布を確認すると、内陸部よりも沿岸部に記号が集中していることがわかります。これは原料の輸入と製品の輸出を効率化するための典型的な臨海型工業の特徴です。
問5	答え 1 シラス台地などの地形的条件もあり、豚や肉用牛、ブロイラーといった畜産の産出額が全体の約6割を占めている。	鹿児島県は全国屈指の農業県ですが、その最大の特徴は畜産の圧倒的な比率にあります。約4109億円にのぼる産出額のうち60.9%を畜産が占めており、これはシラス台地という地形的条件を克服するために畜産や畑作に力を入れてきた歴史的背景に基づいています。他の選択肢にある酪農中心の形態は北海道、近郊農業は茨城県や千葉県、稲の二期作はかつての高知県などの特徴です。
問6	答え 1 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。	黒潮（日本海流）は低緯度の暖かい海域から流れてくる「暖流」であり、周辺の気温を上昇させる働きがあります。この海流が九州南部から四国、関東にかけての太平洋沿岸を流れているため、これらの地域は冬でも温暖な気候が保たれています。この気候的特色は、ビニールハウスなどを利用して野菜の出荷時期を早める促成栽培にも活用されています。
問7	答え 1 九州新幹線の全線開業により、山陽新幹線との直通運転が開始されたこと	交通網の整備、特に新幹線の開業は「時間距離」を大幅に縮小させます。2011年の九州新幹線の全線開業は、それまで乗り換えが必要だった九州南部と本州を直結させ、地図上で表現した際の「東京からの時間的距離」を劇的に短縮させる要因となりました。他の選択肢にあるLCIは航空路、リニアは将来計画や別区間、青函トンネルは北海道方面に関する記述であるため、九州の変化の説明としては不適切です。
問8	答え 1 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。	福岡県では、官営八幡製鉄所の操業以来、北九州市の沿岸部を中心に鉄鋼業などの重化学工業が発展してきました。しかし、1970年代の石油危機による不況を境に、産業構造の転換が進みました。広大な用地や労働力を求めて、内陸部や県東部に自動車工場が進出したことで、加工組立型の工業が成長し、県全体の産業を支える新たな柱となりました。
問9	答え 1 亜熱帯の気候を生かし、河口や海岸の湿地にはマングローブが広がり、貴重な生態系が見られる。	南西諸島は日本の中でも亜熱帯に属し、温暖で雨が多い気候が特徴です。このような環境下の海岸線や河口付近には、塩分に強いマングローブが自生し、独自の景観を作り出しています。選択肢にあるブナは冷温帯の落葉広葉樹であり、南西諸島の低地には見られません。また、マングローブが育つ場所は泥の堆積する湿地ですが、サンゴ礁は泥の少ない清浄な海域で発達するため、それぞれの分布環境は異なります。
問10	答え 1 公害：工場から排出される排煙による大気汚染や、排水による水質汚濁などのこと。	急速な工業化が進んだ時期、適切な対策が取られないまま工場から有害物質が排出されたことで、健康被害や生活環境の悪化を招く「公害」が全国で発生しました。特に北九州市では、石炭や鉄鋼などの重工業が盛んだため、排煙による大気汚染や、工場排水による水質汚濁が深刻な社会問題となりました。これらは人間の経済活動によって引き起こされたものであり、自然現象による災害や、地球規模の環境変化とは区別されます。
問11	答え 1 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水もちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。	九州南部に広く分布するシラス台地は、過去の巨大噴火による火山灰などが積み重なってできたものです。この地層は水はけが非常に良く、水分を保持する力が弱いため、大量の水を必要とする稲作（水田農業）には向いていませんでした。そのため、古くからサツマイモなどの畑作が行われるとともに、広大な土地を活かした豚や肉用牛、鶏などの畜産業が発展し、現在では日本有数の畜産地帯となっています。